



お父さんと3人の子どもたちが写専卒。  
阿蘇山の麓でお父さんの跡を継いで次男が  
頑張っている。清らかな水と自然が生んだ阿蘇。  
「のっぺ汁」が家族の健康のエネルギー。  
阿蘇神社のこんこん湧き出る清水のごとく  
桐原家も新鮮な湧き水のように輝いている。

桐原 映一 × かな子 × 高行 × 菜愛 × 琉月 × 碧海 × 陸 × 明子

© 桐原高行

UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY vol.16

UP! SPECIAL  
HAPPY is  
FAMILY

孫たちの運動会での組体操は何度も繰り返し  
自宅で練習しました。その結果、  
本番で成功させたときは目頭が熱くなりました。



© 桐原高行

なよりのビタミン剤は孫なのです。運動会の練習は家族総出で「もう一回」と繰り返し組体操の練習を重ねました。指導も熱が入りすぎて汗をかくて孫だけでなくみんなクタクタでしたが本番では大成功。今年一番の感動ストーリーでした。

阿蘇の大自然には山の幸がいっぱい詰まっています。なかでも里芋、鶏肉、ごぼうなどを入れた汁物が桐原家では「のっぺ汁」といって一番のごちそうのようだ。また、大自然のなかで育った「あか牛」の牛カツ重なんかほったが落ちました。「あか牛」は阿蘇の絶品とか。映一さん(65)は温泉が好きで、「近くの温泉に行くか、孫と近くを散歩するかがシアワセを感じるひとときです」奥様、かな子さん(65)とのツーショットが目につかふ。高行さん(35)奥様、菜愛さん(35)も「何をすることも子どもが中心になりますね。子どもと一緒にシヨッピングが多いですかねえ」(笑)主役は長女(琉月:11)次女(碧海:8)長男(陸:3)映一さんの趣味は「盃、徳利の収集です」「のっぺ汁って知っていますか? 地元の新鮮な野菜汁です。おいしいですよ」ほろ酔いで愉しく揺れる姿が想像できます。高行さんは「趣味はジョギングです。たろこスパゲティが好きでよく食べています。ダイエットも兼ねて走っています」(笑)

映一さんは昭和42年に写専を卒業して49年に2年間の交際を経て結婚。「彼女の人柄の良さにほれました」とか。高行さんは写専を平成12年に卒業して5年間の交際に結婚「気遣いの良さが彼女の一番いいところですよ」どうです。親子揃って奥様にベタベタぶり。これも家族円満の秘訣でしょうね。桐原写真館の方は高行さんがメインのようだ。映一さんは言う「商売は息子に任せています。田舎ですからわたしの付き合いもありますが、高行ができるようになってきましたので。お客様に喜ばれる写真づくりを心がけてくれているので安心です」スムーズな商売の移行は大自然の風土だけではないはずである。育ったところを愛し、子どもたち、孫たちを愛し、山の幸、好きな徳利に入れたお酒。「夢中になれるものが見つければ、人は生きていて救われる」それを証明している桐原家であった。(は)